

2021年度事業計画

「大学スポーツの振興」に向けた 3actions(活動指針)

大学スポーツの振興

- ・学生アスリートが生き生きとしてスポーツと学修に取り組む
- ・大学・競技団体が更なる発展を遂げる

大学スポーツ 参画人口の拡大

- ・大学スポーツに関わる人々を性別や障がいの有無等に関わらず平等に増やしていく。

We
Promote

University
Sports

Playing

スポーツを
体験する

大学生活においてスポーツする学生を増やす活動

- ・運動部員数の拡大に向けて、学業面・安全安心な環境面での支援を充実させる。
- ・一般学生にもスポーツをする機会の提供を促進する。

Watching

スポーツを
応援する

大学スポーツを観戦、応援する人口を増やす活動

- ・在学生が自らの大学の試合を観戦し、応援する風土を取り戻す。
- ・OB・OGや地域住民を中心に大学スポーツのファンを創出し、育成、拡大をしていく。

Supporting

スポーツを
支援する

アスリートと運動部活動への支援を強固にする活動

- ・大学の運動部として活動を統括・支援する大学を増やしていく。
- ・スポーツ医科学研究の英知・成果を現場に還元していく。
- ・民間企業との産学連携により有形無形の支援を獲得する。

2021年の位置づけ

①課題認識

- UNIVAS設立後3年目を迎える年、事業体系の確立により4年間での完成にまい進すべき年度と捉えております。今までに推進してきた**各事業の完成度を高め、会員の拡大による組織基盤の確立**を進める必要性を認識しております。
- しかしながら、コロナ禍の完全収束には時間がかかることも考慮をし、安全面に十分に配慮を行い無理のない方式での施策の実行と**コロナの状況を鑑みた可変性のある対応**が必要とされる年度であります。
- 収支的には、スポーツ庁補助金、toto助成金の第一フェーズである3年間の終了年度であり、**4年目以降の補助金・助成金の獲得方策の立案や自主財源確保の基盤確立への着手**を図るといった重要な課題にも取り組む必要性があります。
- また、当年は理事の改選年度であり、より**会員の実態を反映できる執行制度に向けた新たな理事体制**の確立が必要とされます。

②事業計画の基本的考え方

- 上記の課題認識を踏まえて、各領域の事業計画を設計します。
- 特に、**安全安心領域において大きな柱となり得る施策**を講じることにより、より多くの大学・競技団体への価値提供を行い、会員の拡大を推進し、また将来に向けた**ファン拡大と組織化のシステム開発**と収益基盤形成に着手してまいります。

2021年事業計画の骨子

2021事業目標

Mission 21

UNIVASアスリート

20万人

加盟登録団体登録学生数17万人

加盟大学

250大学

221大学

加盟競技団体

40団体

35団体

事業計画
5の柱

(1) 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

(2) 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

(3) 大学スポーツ認知拡大の推進事業

(4) 大学スポーツファン拡大と組織化推進事業

(5) 会員組織運営のサポート推進事業

事業を
支える
4施策

(1) 会員の維持と開拓施策

(2) パートナーの維持と開拓施策

(3) 学生との密着施策

(4) 組織体制の整備



(1) 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

(1) 入学前教育プログラムの充実化	<p>▶教材開発と受講方式の改善を図り、有料受講大学の拡大を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none">1.学修支援プログラム →新規教材の開発と導入大学拡大アプローチ2.入学準備プログラム →2021年版に動画コンテンツを刷新
(2) デュアルキャリアプログラムの完成	<p>▶オンラインセミナーの追加開発によりプログラム体系の完成と受講者の拡大を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none">1.オンラインセミナー →3-4年生対象の6テーマの追加開発により4学年対象12テーマ体系を完成。
(3) 就活サポートプログラム体系の確立	<p>▶就活に出遅れがちな運動部学生に向けた運動部学生専用イベント体系を確立します。</p> <p>[4年生対象] 1.秋の就職セミナー(9月)</p> <p>[3年生対象] 2.就職セミナー(3月) 3.仕事体験・インターン紹介フェア(6月)</p> <p>4.業界・職種セミナー(12月) 5.キャプテン・GMG向け就職セミナー(未定)</p>
(4) キーマンに向けた研修プログラムの定例開催	<p>▶ターゲットの特性を踏まえた研修プログラムを定例開催。</p> <ol style="list-style-type: none">1.指導者研修会(7-9月・6回開催) →運動部監督、コーチ等指導者対象の研修会。2.管理者研修会(7-9月・2回開催) →大学としての運動部管理者対象の研修会。3.リーダーズキャンプ(2月・5回開催) →運動部のキャプテン対象、リーダーシップの研修会。4.GMGミーティング(10-12月・8回開催) →主務、マネージャー対象のマネジメント研修会。
(5) 学業基準導入に向けた実証検証	<p>▶2019年度から2年間の検証結果を踏まえて、学業基準の在り方について確立を図る。</p> <ol style="list-style-type: none">1.加盟大学向けの基準導入相談の受付2.伴走支援(導入モデル大学での各施策の運用)3.基準の普及啓発活動

(2)安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

<p>(1)Safety and Security Certification</p> <p>(SSC)システム の稼働</p>	<p>▶ガイドラインに沿った安全安心なスポーツ環境の実現を推進します。</p> <p>1.安全安心対策の認証評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・安全対策必須・推奨計13項目に関する実施内容評価を行い、必要基準を超えている会員(大学・競技団体)にはUNIVAS認証を付与するシステム。2021年度認証取得100会員目標。 <p>2.補償制度(ベーシックプラン)の適用体制整備補償・損害賠償補償制度を適用します。</p> <p>3. 制度周知研修会実施</p> <ul style="list-style-type: none">・全国各地(合計8回を予定)で実施し、加盟および非加盟会員に制度周知活動を行います。
<p>(2)スポーツ障害予防研究の開始</p>	<p>▶大学スポーツ現場における障害・事故の実態把握、データ収集と分析・傾向の抽出を踏まえ 予防策の立案に繋げていく研究を、大学との共同研究として開始します。</p> <p>▶保険データの分析による障害発生研究も継続します。</p>
<p>(3)医療従事者等の配置促進事業</p>	<p>▶試合や大会の現場における安全対策の一環として、医療従事者等の配置をUNIVAS費用負担にて行う事業。</p> <p>開始3年目にあたって、更なる利用促進を図ります。</p>
<p>(4)安全安心体制を維持するプログラム</p>	<p>▶安全安心な環境確保と維持に向けた会員サポートプログラムを継続実施していきます。</p> <p>1.UNIVAS相談窓口の継続開設</p> <p>2.安全安心ガイドラインの改定</p>
<p>(5)安全安心に関する啓もう活動の推進</p>	<p>▶意識の高揚と知見の共有を進める目的で、オンラインフォーラムを開催し、安全安心に取り組むUNIVASとしての情報発信を行い安全安心オンラインフォーラム(11月開催予定)</p>

(3) 大学スポーツ認知拡大の推進事業

<p>(1) 競技横断型 大学対抗戦 UNIVAS CUPの開催</p>	<p>➤withコロナ的环境下において会員である32競技団体の指定大会の開催を支援します。</p> <ol style="list-style-type: none">1.UNIVASセーフティネット制度の適用<ul style="list-style-type: none">・自然環境要因等による大会の中止延期に伴う費用増加を補填する保険制度を適用2.指定大会現場における感染防止対策の支援<ul style="list-style-type: none">・感染防止・安全対策備品の供給、施策費用の負担を通じて安全な大会運営を支援します。3.指定大会のUNIVAS共催<ul style="list-style-type: none">・指定大会はUNIVAS共催大会との位置づけとし、補助金の獲得等により支援を進めます。
<p>(2) 試合動画の配信</p>	<p>➤withコロナ环境下による無観客開催も予見して、ライブ配信の拡大を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none">1.UNIVAS CUP指定大会の配信<ul style="list-style-type: none">・UNIVAS CUP 2020-21 3月開催4競技・UNIVAS CUP 2021-22指定大会32競技2. 地方大会等の配信<ul style="list-style-type: none">・競技人口の最も多い野球東京6大学野球・東都6大学野球の春秋リーグ戦の配信。・最多視聴者数のバレーボールの指定大会全試合配信と指定大会以外の大会の配信検討。3.動画共有サービス<ul style="list-style-type: none">・UNIVASサイトのみならず、大学・競技団体サイトでの動画展開も可能としています。
<p>(3)UNIVAS AWARDS</p>	<p>➤UNIVAS AWARDS 2020-21の表彰式を3月末に計画しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・2021年3月29日(月) オンライン表彰式。 <p>➤UNIVAS AWARDS 2021-22エントリーは10月開始予定。</p>



(4) 大学スポーツファン拡大と組織化推進事業

<p>(1) My UNIVAS Our UNIVAS の登録と利用促進</p>	<p>▶ 大学における運動部管理者、競技団体管理者をキーマンに運動部組織登録とメンバー登録を推進していきます。 会員221大学、32競技団体の管理者登録、組織登録完了を目指します。</p> <p>▶ 提供サービスは更なる追加、充実化を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・My UNIVAS 体調管理支援サービス・フォトダウンロードサービス他・Our UNIVAS インフォメーション機能・出欠管理機能他
<p>(2) 大学スポーツファンの 囲い込み</p>	<p>▶ 大学スポーツ応援アプリを新規開発、アプリの利用を通じて父兄、OBOG、同級生や一般人など大学スポーツファンの囲い込み、組織化を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none">・大学スポーツ応援アプリ(8月リリース予定)
<p>(3) SNSフォロワー の拡大</p>	<p>▶ 大学生に対するダイレクトな発信力のある Instagram、twitterを軸に、動画展開等発信内容の充実化を図り、フォロワーの拡大を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">・Instagramフォロワー 目標 10万人・Twitterフォロワー 目標 10万人

(5) 会員組織運営のサポート推進事業

(1) 大学ガバナンス強化に向けたSA配置事業の推進	<p>▶ 大学スポーツ統括のシンボルである「SA配置」事業を推進し、運動部に対する大学ガバナンスの発揮促進と新規大学の開拓を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 課題抽出アンケートの実施2. 大学スポーツシンポジウムの開催3. 地区別説明会の開催と相談受付
(2) コンプライアンス研修会の開催	<p>▶ 大学における運動部管理者・指導者を対象に、コンプライアンスに対す知見を深め意識を徹底する研修会を開催します。</p> <p>2月・全国4か所にて開催</p>
(3) 不祥事対応事例集の作成	<p>▶ 2020年の競技団体版に続き、大学に対する実態調査を行い、大学における不祥事と対応結果に関する事例集を作成し、研修素材としても活用していきます。</p>
(4) 法律相談の受付	<p>▶ 競技団体におけるガバナンスコードへの対応、法人化への手続き等組織ガバナンス上の法的課題に対する相談受付窓口を設置し、コンサルティングを行います。</p>
(5) 各種データ提供体制の整備	<p>▶ UNIVASが進めてきている各種実態調査やデータ分析結果情報の提供体制を整備、より会員が利用しやすい体制を構築します。</p>

事業を支える4施策

(1)会員の維持と開拓施策

- 1) 大学学長との意見交換 →「学長懇談会」(11月)
- 2) 窓口担当者との意見交換 →「情報共有会」(4月・11月)
- 3) 新たな会員開拓に向けた施策
 - ・関心度の高い安全安心領域における「SSCシステム」を梃子にした新規入会アプローチ。
 - ・未加盟大学をも対象に含めた情報発信プロモーションの展開。
 - ・UNIVASのステークホルダーやパートナー等による入会勧誘キャンペーン展開

(2)パートナーの維持と開拓施策

- 1) 既存パートナーとの良好な関係構築
 - ・パートナーサミット(6月)・週次企画会議・広告ノルマ消化強化策
- 2) 新たなパートナー開拓
 - ・既存パートナーからの紹介アプローチ・新たなメニュー開発

(3)学生との密着施策

- 1) UNIVAS学生部の稼働
 - ・UNIVAS LIVE実況アナウンスチーム・UNIVAS CUP撮影隊チーム
 - ・SNSインフルエンサープロデュースチーム
- 2) ありもり会議の開催 →4月、7月、10月、2月の4回開催を予定

(4)組織運営体制の整備

- 1) 理事体制 →2021年5月改選
- 2) 事務局体制 →増員3人枠の設定
- 3) 中期課題への対応

